

## 日本水準原点の施設を一般公開!

「測量の日」(6月3日)の記念行事として国土地理院関東地方測量部が日本水準原点の施設を一般公開し、1年に一度の機会に、たくさんの方が訪れにぎわいました。

東京都千代田区永田町、国会議事堂の向かいにある憲政記念館構内に石造りの建物があり、その中にわが国の土地の高さの基準となる「日本水準原点」が収められています。

土地の高さは東京湾平均海面を0mとして測りますが、実際に土地を測るときには地上のどこかに高さの基準を決めておく必要があります。そのため、明治24年に国土地理院の前身である陸地測量部がこの地に日本水準原点を造り、当時の観測の結

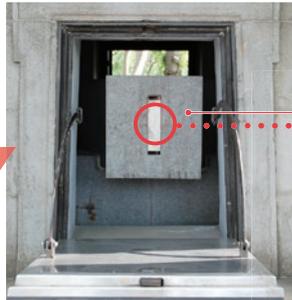
果、建物内部の水晶板目盛り0の表示を、東京湾平均海面上24.500mとしました。

富士山の高さもこの日本水準原点を基準として測っており、よって東京湾平均海面からの高さ3776mということになります。

その後、地震による地殻変動のために、関東大震災後の昭和3年3月に24.4140m、東北地方太平洋沖地震後の平成23年10月に24.3900mと改定しました。



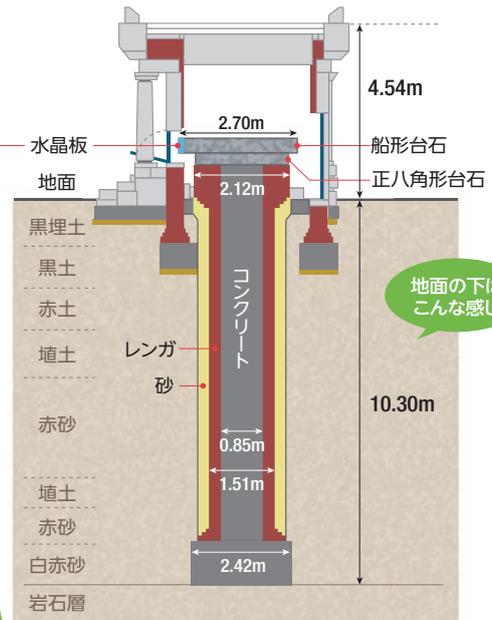
日本水準原点の収まっている建物は日本水準原点標庫といい、建築史上においても価値があり、平成8年に東京都指定有形文化財に指定されました



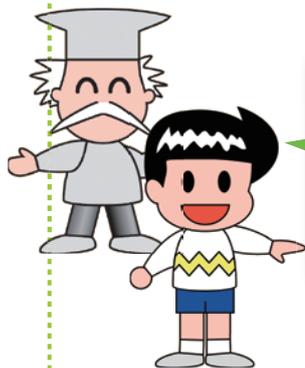
通常は閉じられている中央の扉を開けると水晶板がはめ込まれた水準原点があります



水晶板目盛りの0表示のところが高さの基準



日本水準原点基礎図



よく見ると、目盛りが上下逆さまになっているね。これはちゃんと意味があるんだよ。理由を知りたい人は、ぜひ来年見に来てね。